

# 安全報告書

2026年

伊予鉄道株式会社

**IYOTETSU**

# 目 次

1. 基本方針「安全に係る行動規範」	1
2. 当社の安全管理体制	1
(1) 安全管理体制 組織図	
(2) 各管理者の役割	
(3) 安全管理体制に係る各委員会	
(4) P D C A サイクルによる安全マネジメント体制の取り組み	
3. 2025年度の事故等の発生状況	6
(1) 鉄道における事故等発生件数	
(2) 軌道における事故等発生件数	
(3) 災害（地震や暴風雨による被害）	
(4) 行政処分等	
4. 2026年度安全重点施策	7
5. 輸送の安全確保のための取り組み	7
(1) 安全確保のための取り組み	
(2) その他の取り組み	
6. ハード面での取り組み	16
(1) 新型鉄道車両7000系の導入	
(2) 鉄道線全駅の防犯カメラを更新	
(3) 鉄軌道設備の維持・更新	
7. 地震災害への安全対策	21
8. テロ対策	23
9. 安全報告書へのご意見に関する連絡先	23

## 1. 基本方針

鉄道・軌道業においては、安全管理規程において安全に係る行動規範を定め、社長以下全従業員に対し周知を図り、安全輸送の確保・絶対無事故に取り組んでいます。

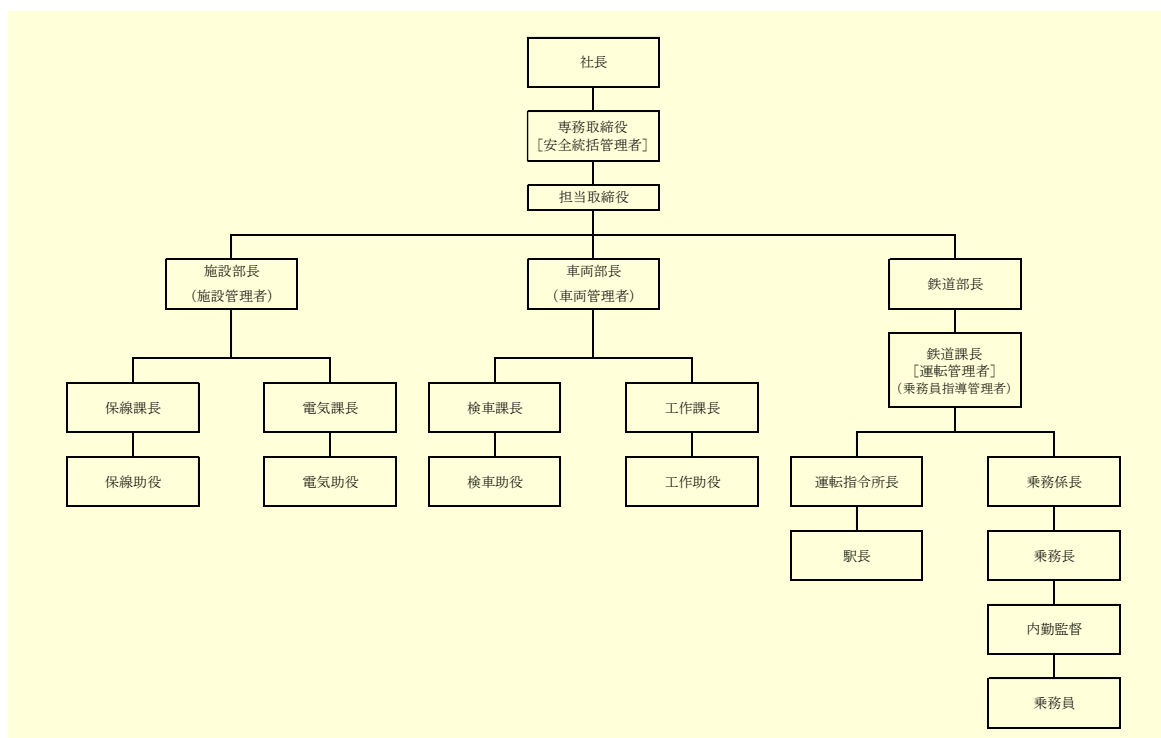
### 安全に係る行動規範

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

## 2. 当社の安全管理体制

2006年10月から「安全管理規程」を制定し、社長をトップとした安全管理組織を構築して運用しています。

### (1) 安全管理体制 組織図



## (2) 各管理者の役割

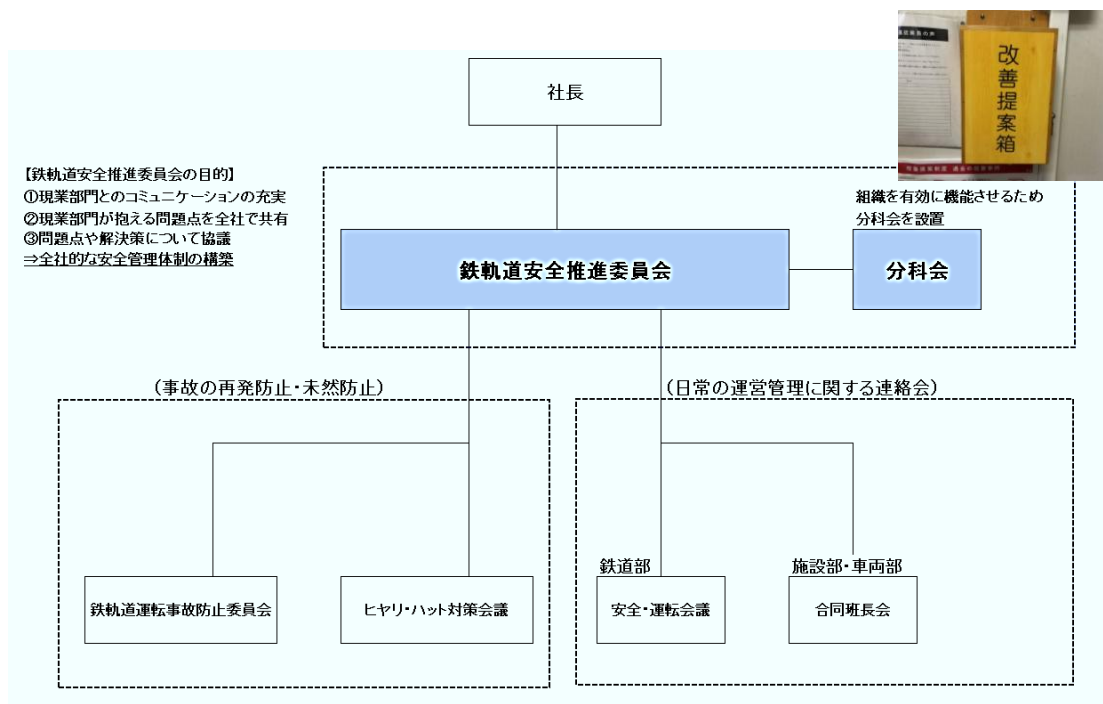
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転および事故防止に関する事項を統括する。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道・軌道施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 本 部 長 (株伊予鉄グループ)	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、要員に関する事項を統括する。

## (3) 安全管理体制に係る各委員会

### ① 鉄軌道安全推進委員会

2012年12月、鉄道および軌道事業における輸送の安全確保に関する事項全般を対象とし、管理部門と現業部門との意思疎通の円滑化を図り、現業部門が抱える問題意識を全社で共有するとともに、現業部門から抽出された問題点や解決策につき協議を行い、全社的な安全管理体制の構築を図るため、各委員会の上に鉄軌道安全推進委員会を設置し、併せて改善提案制度を導入しました。

改善提案箱(改善提案書投函箱)



## ② 鉄軌道運転事故防止委員会

運転事故の原因究明および防止措置に関する事項を総合的に調査審議し輸送の安全性を向上させるため、鉄軌道運転事故防止委員会を年1回実施しております。

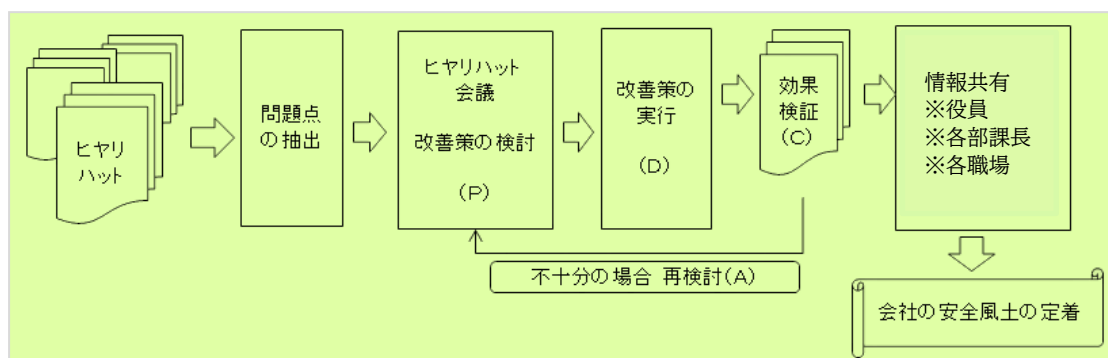
▶鉄軌道運転事故防止委員会（2025年12月）



## ③ 「ヒヤリ・ハット」対策会議

運輸安全マネジメント、安全管理規程に基づき、職場で体験（想定）したヒヤリ・ハットから危険要因と改善点を抽出し、社内で情報を共有することで事故、労働災害を未然に防止する環境を構築するため、半期に1回対策会議を実施しております。

ヒヤリ・ハット事案の対策フロー



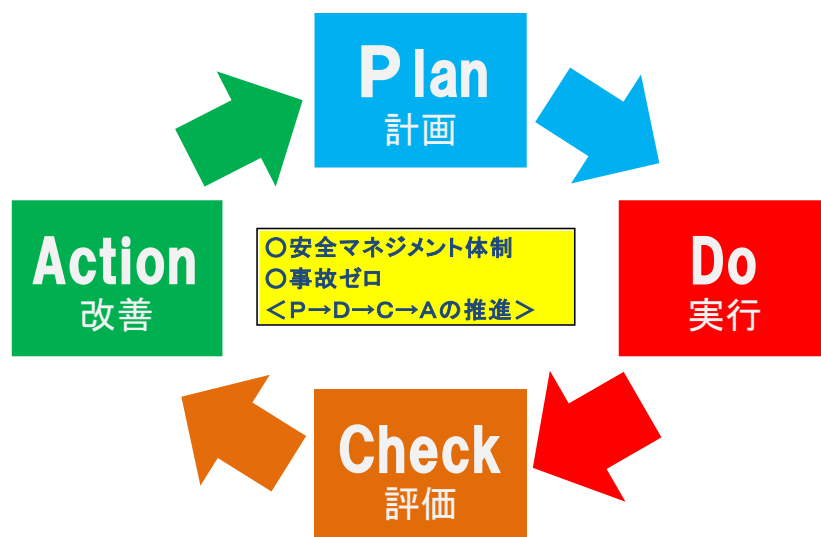
## ④ 安全・運転会議（駅員監督者と乗務員監督者の合同会議）および

### 合同班長会（施設・車両関係の監督者会議）の開催

管理部門と現業部門とのコミュニケーションを図り、日常の運営管理や問題点に関する連絡会議として毎月または隔月に開催し、現業部門からの情報の集約、および現業部門への情報提供の場を設けております。

(4) PDCAサイクルによる安全マネジメント体制の取り組み

経営トップから現場の従業員に至るまで全員が一丸となって「安全で安心、快適な電車」を目指し、「計画 (Plan) → 実行 (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action) →」のPDCAサイクルで安全性の向上を図る安全マネジメント体制に取り組んでいます。



経営トップによる現場とのコミュニケーション

経営トップや安全統括管理者は定期的に現場巡視を行い、輸送の安全確保の取り組み等について確認するとともに、現場とのコミュニケーションを図っています。

▶社長、専務取締役(安全統括管理者)による訓示 (2025年12月)



## 運輸安全マネジメント内部監査の実施

### ①監査目的

輸送に関わる安全管理体制の構築・改善の取り組みを確認しました。

### ②監査内容

次の事項について監査しました。

- ・各部署の安全管理体制が、安全管理規程やその他安全管理体制に関する規程・手順に適合しているか
- ・安全管理体制が適切に運営され、有効に機能しているか

### ③実施日

トップインタビュー 9月30日(火)

鉄道部 12月2日(火)

施設部 12月2日(火)

車両部 12月2日(火)

### ④監査結果 改善事項等の指摘はありませんでした。

▶トップインタビュー(社長)



▶安全統括管理者インタビュー



### 3. 2025年度の事故等の発生状況

2025年度に発生した四国運輸局への届出が必要な運転事故、輸送障害およびインシデントの件数は下記のとおりです。

なお、事故等の定義は次のとおりです。

#### 【事故等の定義】

- ①「運転事故」とは鉄道および軌道事故等報告規則に定める「列車衝突事故」「列車脱線事故」「火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「人身傷害事故」「物損事故」等をいいます。
- ②輸送障害とは鉄道および軌道による輸送に障害を生じた事態であって運転事故以外をいいます。
- ③インシデントとは運転事故等につながる恐れがあると認められる事態をいいます。

#### (1) 鉄道における事故等発生件数

	列車衝突	列車脱線	踏切障害	道路障害	人身障害	輸送障害	インシデント
2025年度	0	0	1	0	0	7	0

#### (2) 軌道における事故等発生件数

	車両衝突	車両脱線	踏切障害	道路障害	人身障害	輸送障害	インシデント
2025年度	0	0	0	0	1	3	2

#### (3) 災害（2025年度に発生した大雨等による被害）

1月6日 地震（震源地：島根県東部 松山市の震度：4）による運休・速度制限  
（速度制限 鉄道線全線・約1時間半、軌道線全線・約2時間）

#### (4) 行政処分等

なし

## 4. 2026年度 安全重点施策

2026年度の安全重点施策は次のとおりです。

- (1) 「重大事故」・「インシデント」発生ゼロ
  - ① 作業基準の遵守・基本動作の徹底でヒューマンエラーの撲滅
  - ② 危険予知・防衛運転の徹底で有責事故ゼロ
- (2) 法令および規程の遵守
  - ① 関係法令及び規定変化への即応
  - ② 継続的な安全教育で安全意識の醸成を図る
- (3) 事故・トラブルの未然防止と再発防止対策の推進
  - ① 事故事例・ヒヤリハット事例を活用し同様事象の予防強化
  - ② 各部署をこえて情報共有し迅速な連携で安全輸送の確保
- (4) 安全性向上施策の推進
  - ① 事故・災害情報の適時伝達と対策実施による再発防止
  - ② 改善提案制度の積極的な活用

各部署は安全重点施策に基づき部署ごとの業務内容に合わせた具体的目標を作成し、達成に向けた取り組みを行っています。

## 5. 輸送の安全確保のための取り組み

### (1) 安全確保のための取り組み

行政機関と連携して実施する「春・秋の全国交通安全運動」、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」をはじめ、過去の事故を教訓として続いている運転事故撲滅運動、安全性向上および事故防止に向けた取り組みとして各種安全教育訓練を実施しています。

	訓練実施時期	訓練場所	訓練概要
全課	2025年 12月	梅津寺駅～港山駅間 本線上	南海トラフ地震を想定した津波避難訓練
		運転指令所 関係機関	南海トラフ地震発生時における 関係機関情報 FAX 訓練
鉄道部 (駅務)	毎月	運転指令所	運転取り扱いに関する各種実設訓練
	2025年 4月	古町駅構内	【実設訓練】 ①電気転てつ器 (NS型 YS型) 手動介入訓練 および点検方法の確認 ②発条転てつ器の操作訓練 ③列車防護および発炎筒使用訓練
	2025年 5月	古町・鉄道課	定期考査
	2025年 6月	松山市駅	総合防災訓練

鉄道部 (駅務)	2025年 9月	松山市駅	防災避難訓練
		梅津寺駅	【実設訓練】 ①連動盤取り扱い訓練 ②電気転てつ器手動介入訓練 ③踏切支障押しボタン取り扱い訓練
	2025年 11月	松山市駅	消防基本訓練
		古町・鉄道課	接遇マナー研修
	2025年 12月	松山市駅	【実設訓練】 ①電気転てつ器手動介入訓練 ②出発信号不現示における代用閉そく（指導指令式）訓練 ③不審者・不審物等テロ対策マニュアルの再確認 ④異常時の旅客誘導・避難方法の確認
2026年 3月	松山市駅	消防基本訓練	
鉄道部 (乗務)	2025年 5月	古町・鉄道課他	【乗務全体】 ①7000系車両の機器取り扱い確認 ②鉄道線における確認喚呼訓練 【鉄道線】 ①列車防護訓練 ②オーバーラン発生時の取り扱い訓練 【軌道線】 定期考査
		古町・鉄道課	軌道新人（1年）フォローアップ研修
	2025年 6月	古町・鉄道課	接遇マナー研修（軌道）
		古町・鉄道課	軌道新人（6ヵ月）フォローアップ研修
	2025年 7月	古町・鉄道課	軌道新人（1年）フォローアップ研修
	2025年 9月	古町・鉄道課	【乗務全体】 机上教育 ①軌道線事故の処置について ②車両異常時の連絡について ③オーバーラン発生時の取り扱い変更確認 ④7000系車両夜間ドア取り扱い手順確認 ⑤4両連結車両解放取り扱い手順確認
			古町・鉄道課
	2025年 12月	古町・鉄道課他	【乗務全体】 机上教育 ①軌道線車内転倒事故発生時の取り扱いについて ②7000系車両の機器取扱い再確認 【鉄道線】 定期考査 【軌道】 車両の発信・停止訓練
			古町・鉄道課
	2026年 2月	古町・鉄道課	軌道新人（2年）フォローアップ研修
施設部	2025年 4月	三津駅構内	【保線】 転てつ棒折損を想定した早期復旧訓練
		久米駅・見奈良駅 構内	【電路】 遮断機代替訓練
		平井変電所	【電気】 電鉄変電所設備のACB投入不良による 緊急点検訓練

施設部	2025年 9月	三津駅構内	【保線】 スプリングロッド折損を想定した早期復旧訓練
		鉄軌道全線	【電路】 全線巡回および連絡体制の確認
		各変電所	【電気】 自然災害を想定した各変電所の巡視
	2025年 12月	松山市駅構内	【保線】 NS電気ポイント転換不能を想定した早期復旧訓練
		古町駅構内	【電路】 波状摩耗を想定した剥ぎ線取付訓練
		上一万変電所	【電気】 保護継電器の誤動作に伴う緊急点検訓練
車両部	2025年 4月	古町構内車庫線	7000系と700系の異種連結器による連結・解放作業および不動車両の移動訓練
	2025年 9月		7000系車両の脱線復旧訓練
	2025年 12月		3000系車両の元空気管および電動空気圧縮機破損を想定した復旧訓練

### 新型鉄道車両7000系の構造説明会を実施

不測の事態が発生した際、関係機関と連携し迅速かつ適切に対応するため、沿線の警察および消防機関を対象に新型鉄道車両7000系の車両構造に関する説明会を「春の全国交通安全運動」に合わせて実施しました。

- (1) 日 時 2025年4月11日(金) 10:00～
- (2) 場 所 古町駅構内
- (3) 内 容
  - ・車両構造の説明
  - ・新型鉄道車両の現車確認
- (4) 参加機関
  - ・愛媛県警察
  - ・松山市消防局
  - ・東温市消防本部
  - ・伊予消防等事務組合消防本部

▶説明会の様子





各訓練実施写真

【駅務】電気転てつ器手動介入訓練



【駅務】発条転てつ器の操作訓練



【駅務】列車防護および発炎筒使用訓練



【駅務】連動盤取り扱い訓練



【駅務】踏切支障押しボタン取り扱い訓練



【駅務】代用閉そく（指導指令式）訓練



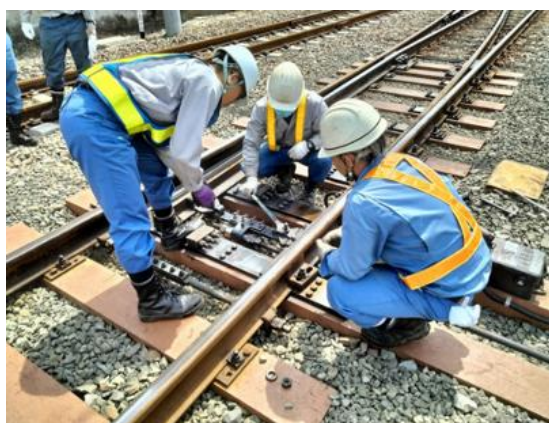
【乗務】 オーバーラン発生時の取り扱い訓練



【乗務】 車両の発進・停止訓練



【保線】 転てつ棒折損を想定した早期復旧訓練



【保線】 スプリングロッド折損を想定した早期復旧訓練



【保線】 ポイント転換不能を想定した早期復旧訓練



【電路】 遮断機取替訓練



【電路】全線巡回および連絡体制の確認



【電路】剥ぎ線取付訓練



【電気】各変電所の巡視



【電気】緊急点検訓練



【車両】7000系車両の脱線復旧訓練

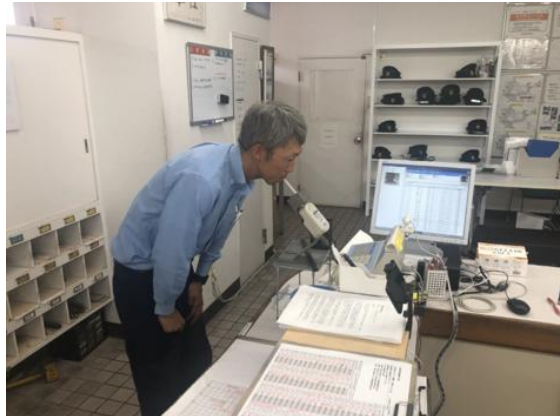


(2) その他の取り組み

① 厳正な点呼とアルコールチェック

乗務員の飲酒運転防止と体調把握のため、乗務前後にアルコールチェックと対面点呼を実施しております。また、業務用の携帯電話をすべての車両に配備し、個人所有の携帯電話は乗務中携帯禁止としております。

▶アルコールチェックの様子



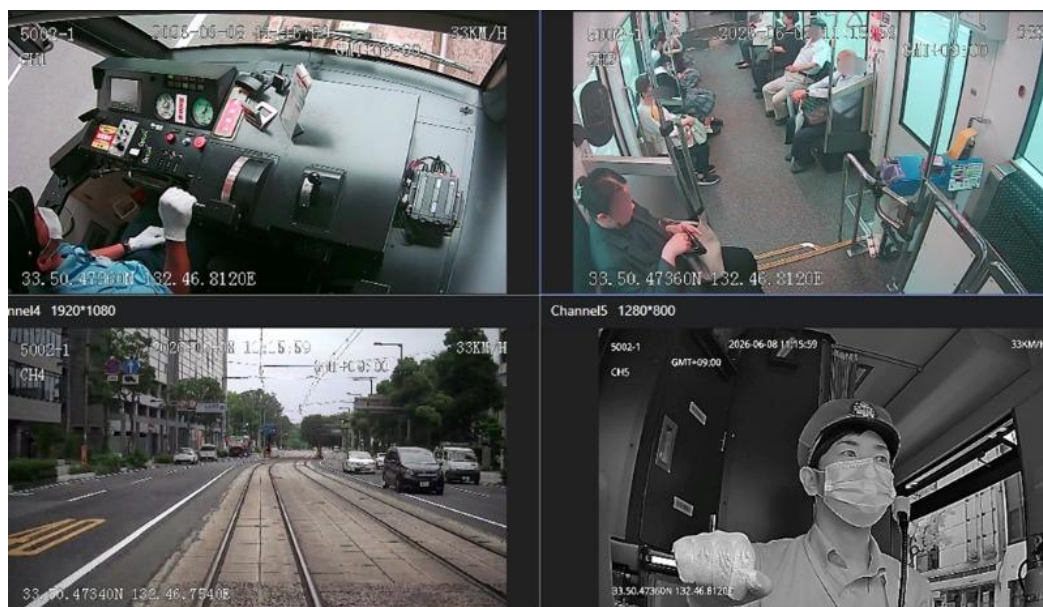
▶乗務員が使用しているアルコールチェッカー



② ドライブレコーダーの活用

ヒヤリハット情報や事故状況の確認のため、ドライブレコーダーをすべての市内電車に搭載しております。カメラで車両内外の状況を記録し、事故発生時の状況確認や、ヒヤリハット情報として乗務員の安全教育に活用しています。

▶ドライブレコーダーの映像



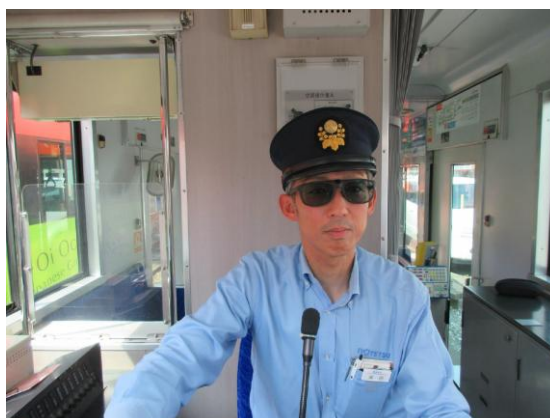
### ③事故再発防止検証会の開催

有責事故等が発生した場合には、該当係員・管理職・指導職・労働組合で構成する「事故再発防止検証会」を開催しております。論理面・運転面の分析と検証を行ない、事故再発防止に繋げております。



### ④運転士のサングラス着用

直射日光等の眩しさを軽減することによる視認性向上、目の疲労軽減による安全性向上を目的として、運転士に偏光サングラスの着用を認めています。



### ⑤A Iカメラによる運転士見守りシステム

軌道線の車両には、A Iカメラによる運転士見守りシステムを配備しております。運転士の目や頭の動きをA Iカメラが分析し、危険な兆候を検知するとアラーム等で警告を行う仕組みで、居眠りや危険運転の防止に役立っています。



## 6. ハード面での取り組み

当事業年度において実施した主な施設更新および工事は次のとおりです。

### (1) 新型鉄道車両7000系の追加導入

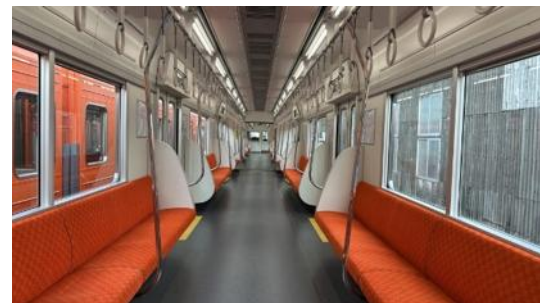
2025年12月に新型鉄道車両「7000系」6両（2編成分）を追加導入し、12両（4編成）で営業運行しております。バリアフリー基準適合車両で、省エネ性能の向上により消費電力を約50%削減し、カーボンニュートラルに貢献します。

2027年までに合計18両（6編成）を導入する予定です。

▶新型鉄道車両「7000系」（外観）



▶新型鉄道車両「7000系」（車内）



▶車内犯罪防止のため、防犯カメラを設置

▶車椅子スペースとLCD次駅案内表示器



### (2) 鉄道線全駅の防犯カメラを更新

駅構内の安全性向上のため、鉄道線全駅に設置している防犯カメラを更新しました。更新に併せて全方位カメラを導入し、防犯対策の強化を図りました。今後も駅利用者の安全確保に努めてまいります。



(3) 鉄軌道設備の維持・更新

① レールおよびマクラギ更新工事

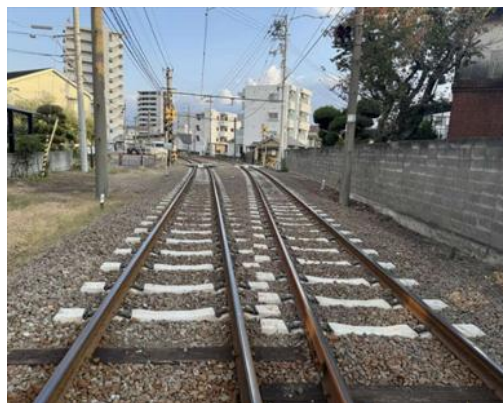
安全性と快適性向上のため、レールおよびマクラギ等の更新工事を計画的に行っております。

いよ立花駅構内 PC マクラギ敷設他

施工前



施工後



平井駅構内 PC マクラギ敷設他

施工前



施工後



余戸駅構内 PC マクラギ敷設他

施工前



施工後



西衣山駅～衣山駅 レール交換およびPCマクラギ敷設

施工前



施工後



上一万～南町 軌道修繕

施工前



施工後



②列車検知装置更新工事（全9基）

安全性向上のため、老朽化した列車検知装置を更新しました。

施工前



施工後



### ③鉄柱建替工事

安全性向上のため、老朽化した高浜線の鉄柱を建て替えました。

施工前



施工後



### ④踏切遮断機取替工事（全23台）

計画的に踏切遮断機を取替を行うことで踏切保安度の維持を図りました。

施工前



施工後



### ⑤リレー等の更新に伴う器具箱更新工事（全6基）

安全性向上のため、老朽化した踏切器具箱を更新しました。

施工前



施工後



⑥ 停留場上面塗装

鉄軌道安全推進委員会「改善提案制度」により、立ち位置注意喚起のため、本町六丁目停留場の上面を塗装しました。

施工前



施工後



**視覚障害のある方の駅ホームにおける転落防止措置について**

視覚障害のある方の安全確保のため、内方線付き点字ブロック敷設のほか、係員の声掛けによる転落防止措置をとっています。

▶ 新入社員を対象とした「視覚障害者の案内訓練」



## 7. 地震災害への安全対策

2007年10月1日より一般供用が開始された気象庁の緊急地震速報制度を利用した緊急地震速報受信装置を同年10月、運転指令所および古町中継所に設置しました。緊急地震速報を受信した場合、直ちに全列車に対し注意運転または運転中止を指令します。また、地震が発生した場合に備え、避難訓練や旅客誘導訓練を実施しております。

▶緊急地震速報受信装置



▶列車無線による指令



### 南海トラフ地震等を想定した訓練

#### 津波避難訓練

- (1) 日時 2025年12月16日(火) 10:04～
- (2) 場所 梅津寺駅～港山駅間本線上
- (3) 想定 震度5の緊急地震速報を受信
- (4) 目的 地震および津波からの避難訓練を総合的かつ実践的に実施することにより、緊急時の連携協力体制の確認および強化と防災対策の確立を図る。
- (5) 訓練内容
  - ①各所間の指示・連絡訓練
  - ②車両からの避難訓練
  - ③避難所までの誘導訓練

▶津波避難訓練の様子





## 8. テロ対策

駅構内の電光表示等により、お客様に対して不審物を発見した場合の通報のご協力をお願いしています。また、全駅に防犯カメラを設置することで、テロリスト等、不審者への防犯対策を行っております。

▶電光表示機等による注意喚起・協力依頼



▶テロ対策特別警戒への協力依頼



▶全駅に設置している防犯カメラ



## 9. 安全報告書へのご意見に関する連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

[rail@iyotetsu.co.jp](mailto:rail@iyotetsu.co.jp)